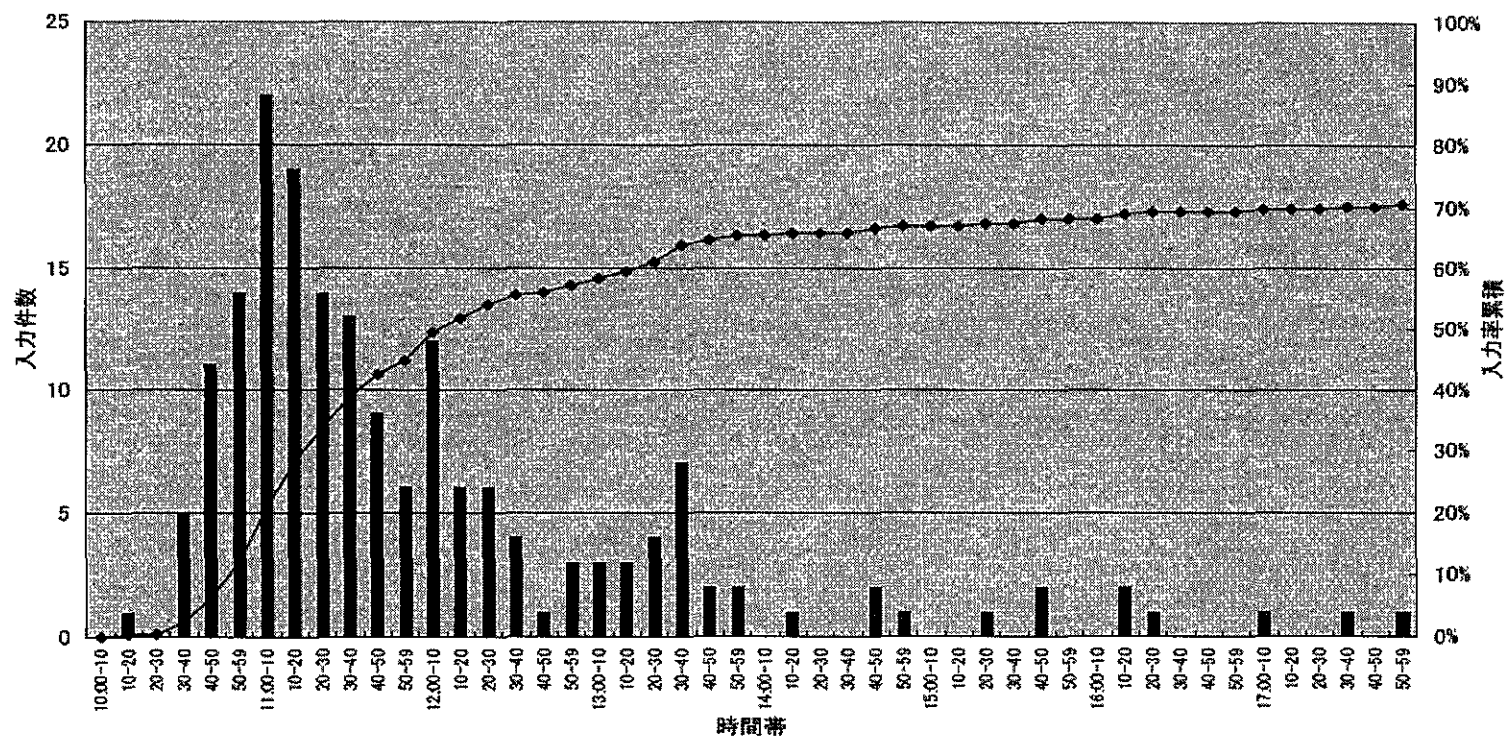


新潟中越沖地震への対応について EMISによるDMAT活動状況の入力率

【新潟県中越沖地震】DMAT活動状況入力率

平成19年7月16日(月) 10時～18時

時間帯別入力率:全国



※2007年7月16日新潟県中越沖地震発生後にDMAT活動状況入力を実施した医療機関数の時系列推移
 ※対象医療機関: 日本DMAT隊員養成研修受講医療施設(255機関)

新厚発第21号
平成19年 7月25日

内閣総理大臣 安倍晋三 様

新潟県厚生農業協同組合連合会
経営管理委員会会長 柳澤武



新潟県厚生農業協同組合連合会
刈羽郡総合病院
病院長 小林



新潟県中越沖地震への対応について (御礼)

謹啓

盛夏の候、内閣総理大臣及び政府自民党におかれましては、ますますご隆盛のこととお喜び申し上げます。

日頃から本会厚生連事業につきまして特段のご理解・ご高配を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。

さて、7月16日に発生いたしました新潟県中越沖地震におきまして地元新潟県柏崎市にございます本会の刈羽郡総合病院は地域基幹病院・災害拠点病院として早速救急患者の受け入れを開始し、診療態勢の確保に努めたところであります。

しかしながら、当院においても被災を受け、特にライフラインの停止により通常の診療機能に障害が生じるなど過去にない大変な状況となりました。

こうしたなか、国による災害派遣医療チーム (DMAT) のご派遣及び救援物資のご支援等、迅速且つ適切な措置によりまして、何とか急場をしのぐことができました。これも偏に安倍総理を始めとする政府与党の皆様方によります格別なるご配慮・ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

これから、震災復旧に向け組織を挙げてがんばっていく所存でありますので、今後とも変わらぬご支援・ご理解を賜りますようお願い申し上げます、取り急ぎ御礼の挨拶とさせていただきます。

謹白